

平成24年度

事業報告書

一般財団法人

東京都高等学校野球連盟

1 事業の内容

(1) 高等学校野球の普及、振興、指導および監督

- ①年度内に予定していた理事会より1回多く（11月）6回を実施し、ほぼ毎月定例として、常務理事会を開催。更に、各部会を開き、審議・検討を行い、健全な高校野球育成を発展に努めた。
- ②責任教師・監督会にて、野球要項を再度熟読し、中学生の体験入部の取扱いを確認した。また、中体連とも連携を取り、開会式での始球式も実施した。
- ③本年度の最重要課題であるフェアプレーの徹底を指導した。具体的には、加盟校の指導者、並びに部員の偵察行為を全面的に禁止した。（ビデオ撮影など）不正があった場合は、責任教師に厳しく指導した。また、バックネット裏付近での試合観戦も合わせて禁止した。次年度も継続的にフェアプレーの精神を伝え、周知徹底に努める。
- ④不祥事件の絶滅に向け、責任教師、監督会議の席上で、加盟校への指導を行ってきた。結果は、本年度は68件（日本高野連38件、東京都高野連止まり30件）の不祥事件があり、まだまだ加盟校への危機管理の認識を伝達しなければならない。
- ⑤ホームページは、7年ぶりにリニューアルし、コンテンツの充実を図り、現在では定着している速報システムなどにより、スピード感を持って情報を提供した。
- ⑥責任教師会議においては、2校を除く271校が参加。様々な懸案事項を詳細に説明し、理解を求めた。
- ⑦本年度は立花龍司コンディショニングコーチを講師として迎え、「野球に必要な6つの身体部位」という演題で講演をいただいた。
- ⑧加盟校が270を超え、審判員の確保には非常に苦勞した。若い世代の審判員の育成が急務である。3人制の審判にて行った試合もあった。大会の度に審判講習会を実施し、技術の向上に努めた。連盟としても、審判員の増員に向け、推薦書の依頼を加盟校に向けた。
- ⑨一般財団法人化に伴い、還元事業として、加盟校へは秋季大会抽選時に背番号を配布。更に8月中に硬式試合球3ダースを加盟校に配布した。

(2) 高等学校野球大会ならびに試合の開催及び協力

①平成24年度春季東京都高等学校野球大会

一次予選は、23の会場に分かれ、197校が参加。3月17日（土）～22日（木）で実施。46の代表校が、4月1日（日）からの本大会に出場。本大会は4月1日（日）～14日間。決勝は29日（日）で、94校が神宮第二球場を含め8球場を使用し、開催。優勝校は帝京高等学校（4年ぶり12回目）。準優勝は東海大学付属高輪台高等学校。

②第94回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会

朝日新聞東京本社と共催で、7月7日(土)から29日(日)までの23日間、神宮球場をはじめとする、東西12の球場を使用し、開催。東東京大会は、成
立学園高等学校が初優勝。西東京大会は、日本大学第三高等学校(2年連続1
5回目)が優勝。両校が東西東京代表として甲子園出場の権利を得た。

③平成24年度秋季東京都高等学校野球大会

一次予選は24の会場に分かれ、262校が参加。9月8日(土)～9月30
日(日)で実施。48の代表校が10月6日(土)からの本大会に出場。本大
会は10月6日(土)から9日間。決勝は28日(日)で、48校が神宮第二
球場を含め7球場を使用し開催。優勝校は安田学園高等学校(初優勝)。準優
勝は早稲田大学系属早稲田実業学校。(両校選抜大会出場)

(3) 高等学校野球の調査・研究

①第95回全国高等学校野球選手権記念大会に向けて、東西の地区割り再検討の
理事会を3回実施。様々な意見の結果、11月20日(火)に決定した。結果は、
世田谷区が西東京へ、中野区が東東京へ移行し、東東京が140校、西東京が1
32校となった。理由は、多摩地区に隣接していることが基本的なガイドライン
である。

②平成25年度の指導者研修会講師に関しては現在未定。今後、継続的に講演者
の依頼を行う。

(4) 高等学校野球選手、部員などのスポーツ障害予防・健康増進

各大会の準々決勝より、理学療法士を球場内に常駐させ、選手のケアをさせた。
選手権大会には準決勝より、理学療法士の他に看護師もお願いし、選手のみな
らず、応援生徒の熱中症対策を行った。生命に関わるような大きな事故もなく、
選手の投球禁止などの適応者もなかった。次年度は国民体育大会を控え、医師
の配置も検討している。

(5) 高等学校野球に関する講習会・研究会の開催

審判講習会は3月11日(日)、6月17日(日)、9月2日(日)の3回を実
施。審判員の技術向上のために積極的な参加があった。

記録員・アナウンス研修会は、6月24日(日)に実施。朝日新聞社の協力も
得て、加盟校の代表校に丁寧に指導した。アナウンス研修は現役のアナウンサ
ーが実技も踏まえて指導し、発声練習を中心に行い、とても実のあるものとな
った。指導者研修会は、12月1日(土)に実施。立花龍司氏による「野球に
必要な6つの身体部位」という演題で講演をいただき大盛況であった。

(6) 野球を通じた国際交流、国際相互理解の推進

本年度の国際試合はなし。平成27年度の実施に向け、調査中。4～5年に1回のペースにて、国際試合（海外遠征）を推進する。

(7) 高等学校野球に関する関係諸団体との協力・提携

東京都中体連、関東地区高野連、全国九地区高野連、並びに日本高野連とは密接な関係を持ちながら、各行事を遂行した。関東地区高野連とは、様々な意見交換を交わし、平成25年度以降の行事にも、東京の高野連として協力を約束している。日本高野連との密接な関係を継続的に維持しつつ、高校野球発展に尽力をつくす。

(8) その他この法人の目的達成に必要な事項

一般財団法人化に伴い、公認会計士指導の元、様々な規則の充実を図った。今後も適宜必要な事項への検討を行う。

硬式 273校 部員数約11,000名
軟式 74校 部員数約1,200名

硬式部

諸会議の状況

1、加盟校責任教師会議	5月26日(土)	1回
1、常務理事会	4月16日(月)、4月20日(金)、6月18日(月)、 7月25日(水)、11月6日(火)、12月3日(月)	6回
1、選手権運営委員会	5月29日(火)、6月8日(金)	2回
1、理事会	4月29日(日)、5月8日(火)、 8月22日(水)、9月1日(土)、10月28日(日)、 11月20日(火)、12月18日(火)	7回
1、選手権委員会	7月2日(月)	1回
1、抽選会	3月4日(日)、6月16日(土)、9月1日(土)、 10月1日(月)	4回
1、球場主任会議	2月28日(火)、6月19日(火)、 7月21日(土)	3回
1、審判講習会	3月11日(日)、6月17日(日)、9月2日(日)	3回
1、審判幹事会	3月8日(木)、6月14日(木)、8月30日(木)	3回
1、評議員会	4月28日(火)	1回

1、国体委員会	9月18日(火)、10月16日(火)、 11月19日(月)、12月10日(月)	4回
1、開会式検討委員会	5月15日(火)、6月29日(金)	2回
1、記録員アナウンス研修会	6月24日(日)	1回
1、審判割当会	6月24日(日)	1回
1、審判員大会中間報告会	7月16日(月)	1回
1、審判員ブロック大会中間報告会	10月3日(水)	1回
1、指導者研修会	12月1日(土)	
	コンディショニングコーチ 立花龍司氏	1回
1、硬式部・軟式部連絡会	4月24日(火)	1回
1、一次予選当番校責任者会議	2月24日(金)、8月29日(金)	2回
1、白球譜委員会	12月1日(土)	1回
1、地区割委員会	5月8日(火)、8月22日(水)、 11月20日(火)	3回

軟式部

諸会議の状況

1、総会	4月8日(日)	1回
1、理事会	1月21日(土)、2月12日(日)、4月8日(日)、 5月3日(木)、7月20日(金)、7月31日(火)、 9月23日(日)、10月14日(日)、10月30日(火)	9回
1、審判講習会	3月20日(月)	1回
1、国体強化事業	2月12日(日)	1回

本連盟主催大会

春季大会 支部予選：3月下旬
都大会：4月15日(日)、22日(日)、30日(月)、
5月3日(木)、4日(火)

夏季大会 7月21日(土)～31日(火)

秋季大会 支部予選：8月下旬
都大会：9月9日(日)、16日(日)、17日(月)、23日(日)、
10月1日(月)

関東大会 10月26日(金)～30日(火)